

「東京都若年性認知症支援ハンドブック」(仮称)の作成について

1 目的

企業内における若年性認知症の人の支援体制を構築することにより、早期発見の実現や就労継続に向けた支援の促進を図ることを目的として、産業医（新たに産業医になろうとしている者を含む。）等を対象とした、若年性認知症に関するハンドブックを作成する

2 主な掲載内容

- ・ 若年性認知症に関する基礎知識
- ・ 早期発見・早期診断・早期治療の重要性
- ・ 企業と産業医の連携による支援が行われた事例・行われなかった事例
- ・ 早期発見・早期診断・早期治療に結びつけるために
- ・ 若年性認知症の人・家族が利用可能な制度の紹介
（医療・介護・障害福祉サービス、就労支援、経済的支援、等）
- ・ 企業が利用可能な制度
- ・ 相談窓口

3 検討会の設置

(1) 名称

「産業医等に対する若年性認知症普及促進検討委員会」

(2) 委員（4名）

斎藤 正彦	医療法人社団翠会和光病院院長
浅川 雅晴	社団法人東京都医師会産業保健委員会委員 （医療法人社団浅川クリニック院長）
森崎 美奈子	東京産業保健推進センター相談員 （元 帝京平成大学大学院健康科学研究科教授・メディカル学部臨床心理学科教授）
室井 豊	東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課長

(3) 検討スケジュール（予定）

平成 22 年 7 月 検討開始

11 月 完成（ハンドブックの配布、ホームページへの掲載等）